

第2回 愛西市緑の基本計画策定委員会議事録（概要）

【日時】平成21年11月26日（木）午前10時00分から

【場所】愛西市役所立田庁舎 第1会議室

【出席者】市民5名、委員9名（1名欠席）、事務局3名、関係者（コンサルタント）4名

1. はじめに

（1）開会のあいさつ

都市計画課長より開会のあいさつ

（2）委員長あいさつ

副市長よりあいさつ

2. 議題

（1）愛西市緑の基本計画報告書（修正事項）の確認

緑の基本計画報告書に対する意見・質疑応答は以下の通りである。

委・緑地率について、小数点表示ではよくわからないので、パーセントで表した方がよい。

事・そのように修正する。

委・工場廃水について何もかかれていない。

委・大規模飲食店でも廃水が問題になることがあるが、その点はどうか。

事・下水道等水質浄化の事業をやっている関係部署と調整後、表現を含める方向で検討していく。

委・公園の維持管理について、愛西市の鉄製遊具器はどのくらいあるものか。材質の変更を検討する必要はないか。安全のための点検があるならよいが。

事・点検については、月1回目視で、年2回非破壊検査を専門業者が行っており、その結果で修繕を行っている。材質については、確かに古いものは鉄製だが、ここ10年以内のものはFRP等を使用している。古いものは修理しているが、できないものは更新を行い、その際に材質について検討している。

委・溶接は素人が見ても分からないので、専門家が見る必要がある。新聞等では自治

体に点検マニュアルがなかったようにも報道されているが。

事・専門の業者に行ってもらっているため、結果は逐一来ている。

委・県営公園に 800 くらいの遊具がある。木は 10 年、鉄は 15 年が寿命。老朽化は国でも気にしている問題である。法的な規制はないが、業者による遊具の点検基準を昨年度作っている。

委・耐用年数はあるのか。

委・材質ごとに、標準的な点検回数を表したものがある。それをもって点検を行い、悪ければ直す。

事・都市公園等も、児童遊園・ちびっこ広場と同様、月 1 回点検をしている。最近では緊急雇用創出事業の関係から、日常的にパトロールを行い、安全対策を行っている。

委・樹木の保全ということになっているが、桜だと 30～50 年くらいの寿命。枯れてくるものもあるので、新しく植樹する必要があるのではないか。

事・おっしゃる通りである。そのような内容も計画書に含めている。

委・特産物の PR とあるが、そこに道楽の郷を入れれば、愛西市も活性化するのではないか。

委・道楽の郷や愛菜花は、地産地消の関係で随分賑わっている。こういったものの取り扱いについて、前回説明があったかと思うが、事務局にはもう一度説明をお願いしたい。

事・施設の概要について調べ、追加できるものなら追加して行きたい。

委・目標値について、国営公園があるので現況値から増加するのは分かるが、市担当部分がどのくらいになるのか、数字の内訳を聞きたい。

事・国営公園としては、バーベキュー場、パークゴルフ場などの計画があるということで 1.8ha と 6.82ha を見込んでいる。また、市内に親水公園があるが、現在未整備であるため 2.5ha を計上している。最後に、児童遊園・ちびっこ広場など、都

市公園として位置づけを視野に入れつつ、合計で2.59haを計上している。よって、国営公園を除けば約5haである。

委・国営公園と身近な公園は違うものであり、特に身近な公園が不足している。ちびっこ広場の大きいもの等を都市公園化として活用するのはよいことだと思うので、それは内訳をしっかりと明記した方がよい。

委・都市公園、都市緑地を分けて記載しているが、間違いではないものの、専門的な区分の仕方であり、特に分ける必要はないのではないか。

事・一つにまとめて記載したい。

委・火葬場が相当な面積があるが、その樹木はどう考えているか。総合的な計画はあるか。将来緑地が増えるという認識でよいか。

委・周囲の景観上の緑地化・庭園化はある。この資料の中には面積は記載していないが意図はあるのか。

事・昨年度実施した緑地の現況調査のデータを使用しているため、その時点で存在しなかったものについては含まれていない。

委・個人所有の大きな森の様な土地は、緑地として対象になっているのか。

事・神社と寺は計上しているが、民間所有のものは対象としていない。

委・目標についてだが、学校など、都市公園以外の公共施設の緑地を含め、「都市公園等」とし、目標を別途定めるやり方もある。民間施設については、目標値は立てづらいものだが、緑地率の中に含めて考えることもできる。

委・最近、火災が多いが、こういった森に防火設備はあるのか。

委・建物全体の状況を見ると、単独の建物が多い。阪神大震災の様に、焼け野原になり、新たに区画整理する場合には道路拡張等の対策が採られるが、この周辺は住宅密集地が多く、現状のままでは対策は難しい。消火栓については、国の基準に基づいて整備している。

委・枯れた木などは、火が燃え広がるのではないか。

委・木が枯れた場合には、植樹を計画的に進めていかなければならない。

凡例 事：事務局

委：委員

（２）その他

①今後のスケジュールの流れについて

○12月15日～1月13日：パブリックコメントの実施

○2月中旬：第3回策定委員会（最終決定）

○都市計画審議会報告

○議会報告

○4月：各戸へ概要版の配布（A3両面2枚分程度）

上記の説明に対する意見・質疑応答は以下の通りである。

委・概要版を各戸に配布ということだが、その紙面に、市民から緑に関する情報を募
るという旨を掲載することはできないか。

委・関連部署と連携して、概要版や広報誌などで情報提供を呼びかけられたらいいと
思う。

②閉会のあいさつ